

【令和 7 年度 政策・調整会議】

件 名：川崎市上下水道ビジョン（2026～2037）（案）及び川崎市上下水道事業中期計画（2026～2029）（素案）の策定について

日 時：令和 7 年 1 1 月 1 0 日（月） 1 0：4 0～1 0：4 5

場 所：本庁舎 7 階特別会議室

●付議理由

現行の「川崎市上下水道ビジョン」（平成 29 年度～平成 37（令和 7）年度）及び「川崎市上下水道事業中期計画（2022～2025）」の計画期間が満了することから、経年による上下水道施設の老朽化の進行や物価高騰による事業費の増加、今後見込まれる人口減少局面への転換、技術職員の採用難に伴う人材不足など、事業を取り巻く環境の急速な変化を踏まえ、新たな上下水道ビジョン及び上下水道事業中期計画を策定するため。

●付議概要

<川崎市上下水道ビジョン（2026～2037）（案）>

・策定趣旨

ライフライン事業者として、市民や事業者が安心して暮らし、事業活動を行えるようにする責務があることから、将来にわたり本市上下水道事業を安定的・持続的につなげていくため、事業の方向性を示す。

・基本理念

「くらしを支え、環境を守り、未来へつなぐ」

・将来像及び方向性

今後 30 年から 50 年程度先を見据えた上下水道事業の目指す 4 つの将来像に基づき、今後 12 年間で各事業が向かうべき 7 つの方向性を設定

<川崎市上下水道事業中期計画（2026～2029）（素案）>

・策定趣旨

事業環境の変化を的確に捉えながら、上下水道事業の置かれた現状と課題を改めて整理するとともに、課題解決に向けた今後 4 年間の施策及び取組を定める。

・施策及び取組

ビジョンに示す方向性に基づき、14 の施策と 42 の取組を設定

●結論

案のとおり了承。